



全学級の学習参観、協議会、給食試食会 一第2回学校運営協議会一

1 全学級の参観

9月5日（金）10:30～12:30に行われた第2回学校運営協議会。8名の委員は、最初に3時間目の学習を各学級約5分ずつ順番に参観しました。



桃1組（算数）



菊1組（国語）



1松（体育）



2松（図工）



3松（理科）



4松（算数）



5松（算数）



5竹（音楽）



6松（外国語）

体育館を除き、どの室内もエアコンが冴利いていて、暑苦しさは全くありません。参観してみて、「なるほど。」と個人的に感じた点を述べます。

- ① ICT 機器（プロジェクター、タブレット端末）を先生も児童も使いこなしていました。
- ② 「一斉学習」と「グループ学習」を織り交ぜて行うことで、学習集団に変化を付けていました。
- ③ 学習補助員、ALT、介助員などの方々が「指導する先生方のサポート」と「個別の子どもたちへのきめ細かな支援」に当たっていました。
- ④ 少人数による特別支援学級では、さらにきめ細かく個々の子どもたちとのやりとりを行っていました。

画像にはありませんが、通級指導教室「うおの学級」（「通級による指導」＝個別の支援が必要な児童生徒が週に1～8回程度、通級指導教室の担任から個別の指導を受けることができる制度）では、先生と1対1で個別の学習を行っていました。

2 1学期の教育活動の説明

次に、会議室で校長先生からの1学期の教育活動の状況についての説明を聞きました。その中で特に印象に残っているものは次の通りです。

- ① 2学年では、「ユリプロジェクト」として月岡公園内のユリ畑で宇賀地小の児童と一緒に球根植え付けを行った。
- ② 体育学習では、タブレット端末を活用して動きを撮影し、フォームの確認をするなどしている。
- ③ 中学生との「あいさつ運動」を行っている。
- ④ 8月23日の「八幡宮相撲大会」に向け、昼休みに「みつわ部屋」と称した相撲道場を開いて練習をした。
- ⑤ 「みつわハッピーデー」では4年生がリーダーとなって1～3年生を連れて遠足に行ってきた。

3 児童・保護者アンケート結果より

次いで、大塚先生から「1 学期の学校評価 ―児童・保護者のアンケート調査結果―」についての説明を聞きました。特徴的な項目と数値のみ、以下に載せます。

【児童・保護者共に肯定的評価が比較的高かったもの】

- | | | |
|-----------------|----------|-----------|
| ◆毎日学校で楽しく過ごしている | 児童 80.7% | 保護者 92.7% |
| ◆家族であいさつをしている | 児童 84.6% | 保護者 89.5% |

【肯定的評価が比較的低かったもの】

- | | |
|---------------------------|-------|
| ◆（児童） 決めた時刻に寝たり起きたりしている | 68.7% |
| ◆（保護者） 家庭学習を「学年×10 分」している | 46.5% |



4 意見交換

最後に、様々な視点から意見交換を行いました。

【ミシン学習の支援について】

委員：(株)ソノボールファッションの関係者に支援を打診したところ、「地域貢献」の一環として快く引き受けていただけたことになりました。毎回はとても無理でも、可能な日時で協力してくれるそうです。

【CSルームの活用について】

委員：地域住民が子どもの相手をするような活動はどうでしょうか？例えば、将棋など。

夏休み前に行ったような「面白理科実験」なども、昼休みであれば授業に差し支えないのでよいのでは？使用の際のルールなども決めて、子どもたちに周知しておかないといけませんね。

委員：そのためには、どんな活動が望ましいのか、またどんな方が応じてくれそうかを事前に調べておく必要がありますね。「人材バンク」のように名簿を作ることも必要でしょう。学校側で児童の希望などを把握して学校運営協議会に伝えてもらおうと、動きが取りやすいです。

学校：猛暑時期は、屋外での昼遊びを控えないといけない日もありますから、エアコンの効いた部屋での活動は良いと思います。

【各種活動における支援者募集方法について】

委員：先日、持久走の監視員の募集案内が配付されましたが、祖父母の方になかなか伝わっていない家庭もあるようです。「祖父母の方にも必ず見ていただけてください」などの文言をたよりに入れることが必要では？

委員：地域住民に広く募集するには「回覧版」がよいのですが、自治会役員の手を煩わせることになるし、人数も期待できません。「誰でも良い」というものでもなく、やはり学校に関わりのある方が良いでしょう。

学校：関係者（委員含む）が保護者間専用の LINE？（tetoru）に加入できるようにする方法もあります。

委員：「登下校見守り隊」も若返りが必要です。持久走の監視員や学校畑の手伝い、草刈りなどで協力してくれそうな人はいます。

委員：各地域の「コミュニティ協議会」のメンバーに支援者を広げていく方法もあるのでは？

委員：ボランティアを募る際に私がやっていることは、ボランティアをしているご本人に捜してもらうのが手っ取り速いようです。ピンポイントで声を掛けていくとか…。



給食試食会の様子

【その他】

委員：PTA 会員からも CS についてもっと理解を深めてもらう必要があります。3 学期の第 3 回運営協議会の際に、PTA 副会長などの役員にも声を掛けて参加を募ってはどうか？

◆意見交換をどう生かしていくか？

昼休みや CS ルームの活用については、児童のニーズ把握を踏まえた上で対応を考えていきます。「支援者の募集」については、出された意見を踏まえ、取り入れ可能な方法を検討していきます。